

目標達成計画

作成日：平成 25年 12月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあい 地域密着とうたっているものの、二年ぐらいの施設で、知名度が低く、中々地域交流を根ざすことは困難である。	地域交流を考えながら、地域への外出や、敬老会を通して少しずつ交流につなげて行く	地域密着を考えつつ、外出の機会を設け、また地域の敬老会等に参加し、地域交流を少しずつ根ざしていく。	12ヶ月
2	4	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしていくということが、なかなかできていない	運営推進会議を通して参加された方からのご意見、指摘等をユニットに伝達して今後のご利用者様のサービスの質の向上につなげる	民生委員や自治センター、地域包括支援センター、地域住民の方合わせて5,6名の参加でしたが、自治会長やご利用者ご家族にも運営推進会議に参加して頂けるよう声掛けをして行き助言をして頂きサービスの質の向上を図る。	12ヶ月
3	6・7	虐待と、身体拘束をしないケアの実践 知識の向上に乏しい	各職員が虐待、身体拘束とはを、熟知し、また行政レベルで理解する	年2回、事業所内で学習を行う	12ヶ月
4	26	ユニット会議カンファレンス等が不十分である	ユニット会議カンファレンス等を毎月行う	毎月ユニット会議を行い、また必要時にも臨機応変に対応しその都度話し合いを行う	12ヶ月
5	33	重度化した終末期に向けた方針の共有と支援	新規事業所により、終末期また重度化したご利用者様の、対応に各職員が不安の無いよう、又、ご利用者様に負担の無いよう対応できるよう上級職員が各職員、新人又は経験の浅い職員等の指導に当たる。	年2回、事業所内で学習を行う	12ヶ月
6	35	夜間を想定した避難訓練をまだ行っていない	夜間火災発生を想定した避難訓練を実施する	年1回、夜間を想定して行う	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。